

平成24年8月27日

逗子市市議会議長
眞下 政次殿

関係住民の理解と合意を得られるまで
「新宿汚水滞水池築造計画」の一時凍結を求める陳情

日本水工設計株式会社による「新宿汚水滞水池」実施設計につきまして、ハイランドからの合流式汚水が滞水されるという説明を、平成24年4月の説明会において初めて知った方が多数おり、市民としては、未だ計画に対して納得のいく回答を得ることが出来て居ない中で、三回をもって市側の説明会は終了となりました。

これに対し、私どもは、平成24年度逗子市議会第二定例会において、平成24年度陳情第13号の了承を受け、市との対話の機会を調整して参りました。しかしながら、これまでのところ、8月19日に市長ご出席によるご説明と対話の機会一回のみを得たに過ぎません。当日の市長との対話の席では、議会の議決を得たからには、地域住民の合意を得ずとも計画を粛々と進めるとの担当課長の説明会での発言について、市長も「合意プロセスの至らなさは事実であり、市議会の議決のみで決まったというのは言葉が足りない。行政執行責任として説明責任を果たしてゆく努力を重ねて、事業の市民の理解を得ながら、懸念を払拭したい」と問題があったことを認めておられます。

また、汚水滞水池を1,100立方メートルの規模で作ったとしても、浄水管理センターから逗子湾に放流する汚水量総量と海洋汚染の懸念からすれば、その有効性に多大な疑問が有ります。このような疑問は、一方的な説明会でなく市民参加型の対話の席で検証され解決されるべきだと考えます。

「青い海とみどり豊かな平和都市」を理念として掲げる逗子市において、合理性、有効性、経済性の観点から最善の選択肢であることが市民参加型の対話の席で明らかにされるまでは、本計画を一時凍結して頂きたくお願い申し上げます。

住所 逗子市新宿1丁目3番18号

さかい しゅういち
氏名 酒井 秀一



外 1,645 名

